


IAM MARKET INSIGHT
マーケット・インサイト

2026年7月6日

代表取締役社長 秋野 充成

今週のポイント いちよしアセットマネジメント**米オープンAIのIPO(新規株式公開)延期報道をきっかけに、AI(人工知能)・半導体関連株が下落**

AI・半導体集中相場の変質がより濃厚となりました。6月26日のオープンAIのIPO延期報道をきっかけに、AI・半導体集中相場の過熱感にリスクを感じる市場参加者が増加したようです。6月25日から7月2日までSOX(フィラデルフィア半導体株指数)は9.4%下落し、2日終値で25日移動平均線を5%以上下回っています。韓国総合指数(ドルベース)も6月25日から7月3日まで14%下落しました。国内株式市場においても、日経平均株価が3.6%、日経半導体株指数が10%それぞれ下落しました。集中相場の象徴であるNT倍率は、18倍から17.15倍に低下しています。

供給制約や米金利上昇に対する懸念の緩和は、ゴルディオックス(適温相場)シナリオへの回帰に繋がるか

オープンAIのIPO延期報道に加え、原油価格の下落が供給制約懸念を低減させ、分散相場を促しています。米・イラン合意後も両国で小競り合いが続き、戦争状態が終了したとは思えませんが、原油価格に再上昇圧力がかかっています。これは、米国とイラン双方に本格的な継戦意欲が無いことを見透かしているからです。トランプ米大統領は中間選挙を見据えて原油価格を低下させることが第一で、イランは復興と軍事能力再強化に臨みたいと思われます。原油価格の下落は米国のBEI※1低下に繋がり、債券マーケットにおいて金利先高観が訂正されています。

そして、2日に発表された6月の米雇用統計では、非農業部門雇用者の増加数が5.7万人と予想の11万人を大幅に下回りました(4、5月も下方修正)。労働市場の非過熱感がOIS※2カーブを低下させています(2026年末の想定政策金利は、6月16日の4.0%から2日は3.9%に低下)。供給制約懸念の低減、金利上昇懸念の緩和は、ゴルディオックスシナリオへの回帰に繋がり、分散相場への転換を加速させることとなります。

実際、米株式市場ではS&P500に占めるマグニフィセント・セブンの比率が6月1日の35%から32%へ低下しています。また、景気敏感株であるラッセル2000が5月末から6月末にかけて3.5%上昇、S&P小型が7.1%上昇しています。ナスダック総合が2.8%、NYSE FANG+指数※3が8%下落していることを考えると注目に値します。

AI・半導体関連株が一時的に調整する局面では、NT倍率が低下し小型株の優位性が拡大すると思われる

分散への環境が整いつつあり(日本では骨太の方針が公表されることも株式市場にとってプラス)、AI・半導体集中相場は一時的に収束すると考えています。ただし、あくまでも一時的であり、AI・半導体の中長期成長ストーリーが終焉を迎えるわけではありません。一時的な収束は当該銘柄群の調整局面であり、今後一段と調整を促すようなニュースフローが続くものと思われます。例えば、ハイパースケーラー※4の巨額投資継続への疑念を高める報道(アンソロピックのIPO延期や巨額起債の中止・減額、将来の収益見通しの下方修正等)や半導体需給の緩和報道が予見できます。しかし、調整局面でのネガティブ報道は必然であり、長期のAI成長ストーリーを信じるのであれば(私は信じていますが)、絶好のエントリータイミングでしょう。ただし、この調整が週間単位になるか、月間単位になるか、現状では不明です。もちろん、すぐに切り返して高値を取るケースもあります。

そして、今回の集中から分散への一時的転換による調整は、NT倍率の低下と同義です。日経平均株価は下落してもTOPIX(東証株価指数)は横ばいか、若干の上昇が想定されます。特に、NT倍率の低下と小型株の優位性拡大は連動性があり、注目です。骨太の方針に関連した銘柄群も、中小型株を中心に割安銘柄が多数存在することから、分散相場(AI・半導体調整)でのパフォーマンス向上に資すると考えています。

～ワンポイント用語集～

- ※1 BEI…市場が推測する期待インフレ率のことで、「Break Even Inflation rate(ブレイクイーブンインフレ率)」の略。普通国債と物価連動国債との利回りの差で算出され、その差がプラスで推移しているときは市場は物価が上昇すると予測しており、マイナスで推移しているときは物価が低下すると予測していることを示す。
- ※2 OIS…「Overnight Index Swap」の略称で固定金利と変動金利の翌日物レートを交換するスワップ取引のこと。中央銀行の金融政策に対する市場の見方を示していると言われている。OIS市場にて算出される年限ごとの金利を線で結んだ曲線を「OISカーブ」と呼ぶ。
- ※3 NYSE FANG+指数…米国のIT(情報技術)企業大手4社であるフェイスブック(現メタ・プラットフォームズ)、アマゾン、ネットフリックス、グーグルの頭文字を取った「FANG」に6銘柄を加えた10銘柄に等金額投資する株価指数のこと。
- ※4 ハイパースケーラー…100万台以上の巨大なサーバーリソースを保有する企業の総称。世界中でクラウドサービスを展開しているアマゾン、マイクロソフト、グーグル等を指す。